

「i-Con ラボ」の新設について

1. 新設の目的

国土交通省は令和6年4月、建設現場で働く一人ひとりが生み出す価値を向上し、少ない人数で、安全に、快適な環境で働く生産性の高い建設現場を実現すべく、「i-Construction2.0」を策定し、建設現場のオートメーション化により2040年度までに建設現場の省人化を少なくとも3割、すなわち生産性を1.5倍向上することを目標に掲げております。当社においては、これまで建設現場や工場業務におけるITの活用やバックオフィス支援の推進等により生産性の向上を進めてきましたが、この国土交通省の新たな生産性向上（省人化）の施策「i-Construction 2.0」に対応して更なる生産性向上を図るべく、「i-Con ラボ」を立ち上げます。ラボでは、無人化、自動化、遠隔製造・施工、衛星通信などをキーワードとした斬新的な取組みを企画し、具現化して、そして業務への実装を遂行して参ります。

2. 今後について

2025年10月1日付で、当社の技術開発全般を統括する技術センターにi-Con ラボを新設し、下記活動スケジュールに沿って取組みを進めて参ります。i-Con ラボのメンバーは、技術系・事務系問わず社内からの公募によって決定しました。

3. メンバー選考について

応募者には、無人化・自動化・AIなどをキーワードとした斬新的な取組みの提案書及び応募理由を求め、書類選考と面談を行い、本取組みに意欲的な若手職員2名をメンバーとして決定しました。

4. 活動スケジュール

	2025年度		2026年度				2027年度				2028年度			
	10月~12月	1月~3月	4月~6月	7月~9月	10月~12月	1月~3月	4月~6月	7月~9月	10月~12月	1月~3月	4月~6月	7月~9月	10月~12月	1月~3月
・社内経歴に応じた研修	■													
・情報収集	■	■	■	■	■	■								
目的 ①生産方法の将来形のイメージ ②具現化するための要素技術とその活用方法の洗い出し														
・要素技術の洗い出しと試行			■	■	■	■								
・企画書の作成		※①			※②									
・設計、開発、実装							■	■	■	■	■	■	■	■

※①：全体イメージと実現に必要な要素技術の考察

※②：要素技術を組み込んだ企画書（費用含む）